

1－(6) 京都の文化財の保護と活用のための総合的対策

(文化庁)

京都市内に集積するかけがえのない有形無形の文化財を守り、それらの持つ意義を後世に伝えることは、歴史都市・京都の基本とも言うべき責務であり、国民的課題であります。また京都では、他都市に比べ文化財の保護に伴う保存修理事業の需要が大きいうえ、市内に残されている史跡のより良好な保存を図るために多額の経費が必要です。更に、現在、文化財の現況把握は十分ではなく、保護と活用のための総合的な対策がとれているとは言えない状況にあります。

京都という宝を活かした日本再生のためにも、国の財政措置の拡大をはじめとした文化財の保護と活用のための総合的な対策を図られるよう提案します。

提案事項

- 1 文化財悉皆調査及び出土遺物の管理に対する補助制度の創設
- 2 文化財所有者にかかる税負担の軽減
- 3 重要無形民俗文化財祇園祭山鉾巡行に対する国庫補助の実現
- 4 文化財保護法により都道府県又は市に委任できる文化庁長官の全ての権限の本市への委任

継続要望事項

- 1 埋蔵文化財の発掘調査に係る国庫補助金の増額及び補助率の引上げ
- 2 史跡等先行取得事業補助金の補助率の引上げ
- 3 史跡等整備事業補助金の増額
- 4 文化財保存修理事業に係る国庫補助金の増額
- 5 文化財保護法改正に伴う地方財政措置の拡大

主な提案先：文化庁（文化財部伝統文化課、記念物課、美術学芸課、建造物課）

本件に関する連絡先：文化市民局 文化部 文化財保護課長 石崎 了 TEL075-222-4112

文化市民局 埋蔵文化財調査センター所長 佐々木弘史 TEL075-441-5261

<参考>

◎公有化済で未整備の史跡

史 跡 名	面 積	公有化完了年度
と 鳥 羽 殿 跡	9,553㎡	昭和50年度
醍醐寺境内（ かやのもり いい せき 栢杜遺跡）	5,345㎡	昭和58年度
御 土 居（大 宮）	9,555㎡	昭和63年度
へい あん きやう ぶ らく でん あと 平 安 宮 豊 楽 殿 跡	543㎡	平成5年度
くる す の が よう あと 栗 栖 野 瓦 窯 跡	3,276㎡	平成5年度

◎祇園祭巡行経費の推移（単位 千円）

平成12年度	106,656
平成13年度	103,245
平成14年度	102,743
平成15年度	101,761

◎文化財保存修理事業に対する国庫補助金の状況（単位 千円）

12年度	事業費	1,853,843	補助金額	1,162,967	平均補助率	62.7%
13年度	事業費	1,697,130	補助金額	1,005,837	平均補助率	59.3%
14年度	事業費	1,647,778	補助金額	993,468	平均補助率	60.3%
15年度	事業費	1,982,366	補助金額	1,144,584	平均補助率	57.7%

上記のうち防災施設に対する国庫補助の状況（単位 千円）

12年度	事業費	152,261	補助金額	101,526	平均補助率	66.7%
13年度	事業費	156,348	補助金額	85,492	平均補助率	54.7%
14年度	事業費	79,736	補助金額	50,350	平均補助率	63.1%
15年度	事業費	138,628	補助金額	69,457	平均補助率	50.1%

◎文化財所有者に係る税金の減免等の状況

区 分		相 続 税	譲渡所得の特別控除
国 指 定	建 造 物	相続財産評価額の 6割を減額	2,000万円の特別控除（所得税） 2,000万円の損金算入（法人税）
	史 跡 等	—	同 上
国 登 録	建 造 物	—	—
市 指 定	建 造 物	家屋、一体の土地の	—
	史 跡 等	評価額を一部減免	
市 登 録	建 造 物	家屋、一体の土地の	—
	史 跡 等	評価額を一部減免	

◎埋蔵文化財緊急発掘調査実施に対する国庫補助の状況

(単位 千円)

	総 事 業 費				補 助 率
	12年度	13年度	14年度	15年度	
発 掘 調 査	2 件	4 件	3 件	3 件	50%
	20,916	32,278	21,794	20,713	
試 掘 ・ 立 会	495件	477件	485件	481件	
	30,154	29,732	29,500	30,913	
計	51,070	62,010	51,294	51,626	